

三年生分散会A

自己紹介

報告(未記録)

石井中K

石井中Y

意見交換

司会者 おてもとにあるテーマと報告をもとに、意見交換をお願いします。「解放運動の担い手としてどう生きるか話し合おう！解放運動をどのように理解しているのか。私たちの活動の課題や私たちの活動とは何か」というテーマについてでもいいし、報告した二名についてでもいいし、いろいろな意見を言ってください。

全体会でも言うたんやけど、うちは、絶対差別から逃げる人間になりたくないし、みんなにも、そんな人間になつてほしくありません。そのために、どんなことでもいいから活発に意見を言つてほしいと思います。

石井中 ぼくは、部落差別に正面から向き合いたいので、

他のみなさんの意見をお願いします。

石井中教員 石井中学校では、これまでは定期的に同和問題学習をやつてなかつたんですが、今年度から月一回やつていこうとしています。他の学校ではどんな学習会をやっているのか教えてほしいと思います。

加茂名中Y 学習会やつていて、どんな方向でいこうか考えているのですが、さっきの石井中の報告にもあったんですが、どんなにしたら変わるのか、そんな話が聞けたらお願いします。

那賀川中教員 同和カルタでも、「堂々とふるさとの言葉の子に」というのがありますが、自分たちの地域に対する思い、良いところを聞かせてもらつたらと思います。

一宮保育所保育者 保育所から参加させてもらつてますが、小学校でも「なんで部落の子だけが学習会に参加せなアカんのか」という声があります。先ほどの全体会でも、みんなで参加したらという意見が、Kくんからもありましたが、中学生のみなさんがどう思うのか聞かせてください。この会に出て、みなさんの意見を聞いて、0歳児からの保育に役立てていきたいと思つたのでよろしくお願いします。

山川中M さつき、地域のいいところを聞かせてほしいという先生の意見がありました。ふるさとの道で誰かに会って「おばちゃん、こんにちわ」って言うたら、「こんにちわ」と返してくれる親しみがもてるあたたかいところですよ。

上板中教員 上板中でも、学習会で同和問題学習を月一回しているのですが、具体的にどんな話し合いがされているかお聞かせください。

上板中N 上板中の同和問題学習は、三年は水平社宣言をやっています。どういう意味なのか、みんなが一文一文にどういう思いをもっているか、出し合って話をしていきます。なかなか難しくってたいへんです。

司会者 坂野中学校はどんな内容ですか。

坂野中教員 学校でいろんなことがあったことを問題に出して話し合いをしたり一、二年の時は資料を使ったりしました。

牟岐中教員 去年からの取り組みを簡単に紹介します。たとえばお別れ遠足があるんですが、国府のS地区へ行かせてもらってフィールドワークをしました。昔、S地区の人が大阪で同じところで働いていたことを聞いたりし

ました。牟岐の部落の人は製材の技術が非常に高かったので、仕事で大阪のほうに働きにでていたとは聞いていたのですが。そのことが確かめられました。また、同和問題意見発表会の前に事前の勉強をしたり、うちは学習会の生徒数が少ないので、他との交流というか、牟岐町内だけでなく、いろんな所へ足を運んで勉強しているところですよ。

司会者 石井中お願いします。

石井中 おもに、学校であったことを中心に勉強しています。

司会者 山川中お願いします。

山川中M 学校の同和問題学習で使う資料を事前に勉強したり、行事の計画をたてたり、夏休みの一泊研修では、親子同和問題学習をしたりしました。

那賀川中 合同学習会で話をしたり、先輩の話を聞いたりしています。

坂野中教員 みんなで話せる題材で、話をしたらどうでしょう。将来結婚するときの不安とか、今、学校でどんな生活をしているのか、道徳の授業でどんな授業をしよるんか。自分のことを言うのは話にくいのですが、自分

も結婚するときに、嫁さんが部落出身なのかなあとちよ
つと思つたことがあるんです。なんでかという、自分
のじいちゃんやかあちゃんから、おまえの嫁はんどこの
生まれなと聞かれたらどうしようと思う意識があつたか
らだと思ふんです。これが、結局自分の差別意識なんや
と気づいたのですが。

司会者 みんなが結婚差別にあつたらどう対応しますか。
上板中K 私がもし結婚差別にあつて、男の人の親が反対
していると云つてきたら、その男の人も私と結婚するの
が、いやと思つているのではないかと思ふんですよ。そ
の男の人も親が大切だと思ふけれど、その男の人が親と
縁を切つてもいいというのだつたら、わたしは結婚して
もいいと思ふと思います。

上板中N 私は相手の親を説得しに行くと思ひます。相手
の男の人が「おまえとは結婚せん」と言ふんだつたら結
婚せんし、相手の男の人が親の反対を押し切つてもとい
ふんだつたら結婚しようといふます。

山川中M 結婚差別にあつても、逃げたらいかんと思ひま
す。「間違つてゐることを間違つてゐると言ふのは正し
いことなんだから、負けたらあかんでよ」と親に言わ

れてきました。母が被差別部落の生まれなんだけど、結
婚の時、お父さんの姉さんが母の味方になつてくれたそ
うです。友達とか理解者を見つけて、説得したいと思ひ
ます。

鶴尾中教員 高松市には中学校が十九あるのですが、卒業
生が高校へ行つて自己紹介すると、鶴尾というだけで怖
がられるようです。元気な先輩がいたという伝統がある
んですが、二百三十人中六十三人が部落の子。つまり、
部落差別なんですよね。偏見をもたれているんです。高
校へ行つた時、鶴尾はそんなところでないんでよつて、
説明できる力をつけようと言つています。そういうふう
に説明できる子とそうでない子がいるんですけど、ここ
にいるみなさんは教えていける自信がありますか。そう
でないですか。

那賀川中教員 「自信がありますか」と突きつけられたら
返答に困ると思ふんですよ。でも、その自信をこの会で
つけていくというのが大切だと思ふんですよ。ここにい
るみんなも高校へ来年の春には進学すると思ふけど、高
校でもいろいろな偏見があるかもしれません。それをみ
んながどういふふうに打ち消していけるかだと思ふんで

す。「ふるさとに自信がありますか」って言われて、はいと言える人は部落差別に負けないと思います。自分のふるさとについて悪いうわさが出た時に、どうやって断ち切れるか、断ち切るために、どう友達をつくっていくかということ、この場で考えていけたらと思います。

上板中N 今、実際自分は高校へ行って差別にあつた時、それを間違ふという自信はないと思うんだけど、この会でみんなの意見を聞いて強くなりたいたいと思っています。みんなも思っていることあると思うので、この場で発表してください。

保育所保育者 中学一年の子どもがいます。娘のノートをみると、学校で差別の勉強をしたのだろうと思うけど、娘が「同和問題が差別の中で一番かんと思っています」と書いてたんです。私は地区外の人と結婚しているのだけど、子どもには立場のことを言っていないです。学習会へ行くのも、いいのやら悪いのやら迷っています。いろいろな人権学習をしていけばいいのかも思うのだけど、中学生というのはどんなことを考えとんか知りたいと思うので、どんどん意見聞かせてください。

司会者 今、話し合っているテーマの確認をします。高校

へ進学して差別とぶちあたった時に、間違ふと言え自信があるか、また自信をつけるためにどうしたらよいかということ、話し合ってください。意見ある人お願いします。

加茂名保育所保育者 同和教育の基礎は就学前にあるといいますが、おかしいことはおかしいと言える子に育ってほしいという思いで保育をしてきました。なかなか自分の意見は言えんと思いますが、お願いします。

部落解放同盟永井 高校生集会でも、差別と気づくようなことを経験したことがないと言う人が多いのですが、中学校入ってこんな経験したことないですか。「あの子はどこの子?」「あんたとは遊べん」「あつちの子とは遊べん」という経験はないですか。「あんたどこからきたの?」と聞かれて、自分の地域の名をいったら、相手の態度が変わる、そんな経験ないですか。

上板中K 私は聞かれたことはないと思うし、聞かれたら、「うち上板です」と、堂々と言うと思うし、べつに同和って恥ずかしいことでないけん、堂々と言ったらよいと思います。

上板中N うち、「どこに住んでんの」と聞かれたことは

あるけど、べつに上板町の〇〇に住んでますと言うてもどうってこともないけれど、別にどこに住んでいても恥じることはないと思います。

江原中 私も同じ意見で、同和地区でもべつに恥ずかしいことはないと思います。

司会者 何か、他にないですか。

加茂名中Y 高校へ行つて、「おまえ部落のやつか」って言われたら、はっきり「部落のもんや」って言おうと思います。

石井中K 「おまえ、部落出身か」と聞かれたら「部落出身です」と言えるようになります。

那賀川中 自分は部落出身ですとはっきり言えるという力強い意見ありがとうございます。どうしてそういうことが言えるんですか。

加茂名中教員 去年、三年生を担任していた時に、二年生の時にはっきり聞かれたという生徒がおりました。「おまえ部落だろ」と聞かれたそうです。その時ははっきり答えたそうです。「そうじゃ、それがどうしたん」と答えたそうです。他の人も言われよんちがうんかと思いましたが。同じ子が高校へ入って、クラスの別の中学出身の

子から言われたそうです。その時に、「ほうじゃ、それがどしたんえ」と切り返しています。去年、私のクラスに学習会参加者が四名仲良くなった子とつながっていうとうときに、「自分は同和地区なんよ」と言って仲良くなって、「この子は」という子には生まれを言っていてきました。ぜひ、みなさんもつながりを広げていって、仲間をどんどん増やしていってほしいと思います。

部落解放同盟永井 板野中が全体学習をしている中で、板野中は小学校が三校あるんですが、全体学習の中で自分の父や母が言っていたことが部落差別だったんだということを発表していました。小学校の時に、「南校区の子とは遊ばれんでよ」と言われて、その時は何を言よんかわからなかったけど、勉強をするなかで、それが部落差別なんだということに気がついたということでした。

司会者 そろそろ時間がせまってききましたので、この分岐会を終わりたいと思います。